

令和5年台風第6号にかかる 日本赤十字社沖縄県支部の活動報告

令和5年7月31日～令和5年8月7日



日本赤十字社

▶ 日本赤十字社沖縄県支部の主な動き(時系列)

月日	時刻	内容
7月31日	9:30	台風接近に伴い、災害警戒態勢
8月1日	4:25	沖縄本島地方暴風警報発令
	7:00	日本赤十字社沖縄県支部災害対策本部設置、第1次救護体制発令
8月2日	5:30	日赤安謝福祉複合施設より施設停電、自家発電燃料切れの報告あり
	11:00	日赤安謝福祉複合施設へ下記の資機材を貸出 貸出物品:蓄電池2(大・小各1)、変換機2、発電機、携行缶、ラップポン用ランタン5
	18:00	日赤安謝福祉複合施設へ下記の資機材を貸出 貸出物品:懐中電灯、ヘッドライト
8月3日	9:30	各市町村へ救援物資の需要確認のメールを送信
	11:40	うるま市へ救援物資(安眠セット20、タオルケット20)支給
	15:20	沖縄市へ救援物資(タオルケット18、緊急セット6、安眠セット18、毛布6)支給
8月4日	9:45	沖縄県より、沖縄県酸素ステーション立ち上げ支援の依頼あり
	11:00	浦添市へ救援物資(タオルケット、安眠セット、段ボールベッド)支給
	11:10	沖縄県酸素ステーションの立ち上げ支援に職員1名派遣

➤ 日本赤十字社沖縄県支部の主な動き(時系列)

月日	時刻	内容
8月4日	12:00	本部町へ救援物資(タオルケット50、安眠セット30)支給
	14:25	浦添市へ救援物資(タオルケット20、安眠セット15)支給
	15:00	沖縄県の9市町村に災害救助法適用
	16:00	沖縄県酸素ステーションへ救援物資(毛布30、タオルケット30)支給
8月6日	4:28	沖縄本島中南部暴風警報解除
	10:30	久米島町より備蓄用救援物資(タオルケット100、安眠セット100)の要請あり(後日対応予定)
	17:00	第一次救護体制を解除し、災害救護体制へ移行
8月7日	10:00	備蓄している救援物資減少に伴い、今後の物資補充について、本社、福岡県支部と調整



➤ 日本赤十字社沖縄県支部の活動状況(1)

沖縄県支部の体制

日時	体制	主な対応内容
7月31日9:30～	災害警戒態勢	台風第6号接近に伴い、各自情報収集
8月1日7:00～	第1次救護体制	災害対策本部設置 県内の被害状況等情報収集 本社、福岡県支部へ状況報告 救援物資、資機材の配布 職員の派遣
8月6日17:00～	災害警戒態勢	台風による暴風雨が弱まってきたため、第1次救護体制を解除し、災害警戒態勢(各自情報収集)に切り替え

関係機関への職員派遣

活動日時	派遣元	派遣数	派遣先	主な対応内容
8月4日 11:30～21:00	沖縄県支部	1名	沖縄県酸素ステーション	沖縄県からの要請に基づき、停電により在宅酸素療法が行えない患者を一時的に受け入れる施設の立ち上げ作業を支援

▶ 日本赤十字社沖縄県支部の活動状況(2)

救援物資の配布状況(8/6時点)

配布先	毛布	タオルケット	安眠セット	緊急セット	段ボールベッド
うるま市	—	20枚	20セット	—	—
沖縄市	6枚	18枚	18セット	6セット	—
本部町	—	20枚	15セット	—	—
浦添市	—	51枚	31セット	—	1個
沖縄県 酸素ステーション	32枚	30枚	—	—	—

[今後の対応予定]

- ・久米島町 タオルケット100枚、安眠セット100セット(8/6依頼あり)
今回の台風被害を受け、物資の備蓄が少なくなったため

➤ 日本赤十字社沖縄県支部の活動状況(3)

資機材の貸し出し

- ・台風の影響で、日赤安謝福祉複合施設で8月2日から8月3日にかけて停電が発生。自家発電の燃料も枯渇していたことから、当支部からも資機材を貸出し、対応に当たりました。

資機材名	数量	資機材名	数量
蓄電池	2台(大1、小1)	変換器	2個
発電機	1台	携行缶	1個
ランタン	5個	ヘッドライト	8個
懐中電灯	4個	扇風機	4台



資機材の搬送や発電機設置対応に当たる日本赤十字社沖縄県支部、沖縄赤十字病院の職員

➤ 日本赤十字社沖縄県支部の活動状況(4)



「自治体職員へ救援物資の配布を行う日赤職員」



「自治体の運搬車へ救援物資の詰め込み行う日赤職員」



「自治体職員へ救援物資の説明を行う日赤職員」



「沖縄県酸素ステーションの立ち上げに日赤職員も支援」